級別に取り組む、漢字の問題プリント

漢字ドリル

漢検 3 級

第20巻　問題のみ

読み、書き、くり返し。

35字

この巻で学ぶ漢字

この巻で取り組む漢字の一部

基 堂 報 境 墓 増

問題にじっくり取り組む

本文 27ページ・答えは各用紙のQRから

diglabo.com

diglabo

漢検の級別配当を参考にした独自教材です。公式問題集ではありません。

3きゅう 20かん たんい1 A

なまえ

/ 17

1. サッカーの［き］本（ほん）を学ぶ
2. 兄から修学旅行の［ほう］告（こく）を聞く
3. 夜の［はか］場（ば）の前を通るのはこわい
4. 小学校に入って［いち］年（ねん）がたつ
5. 赤いえんぴつを［いっ］本（ぽん）かりる
6. 学校の図書を買う［き］金（きん）を集める
7. 明日は雨の予（よ）［ほう］だ
8. お寺のとなりに［ぼ］地（ち）がある
9. 学校の食堂でカレーを食べる
10. となりの家との境にへいがある
11. 町の人口が少しずつ増加する
12. 田んぼでカエルが鳴（な）いている
13. 列車が国境をこえる
14. 雪どけ水で川の水かさが増す
15. 転校生が来て人数が増える
16. 町の公会堂でピアノのコンサートがある
17. 水田にいねのなえを植（う）える

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん たんい1 A-2

なまえ

/ 17

1. お正月のある［いち］月（がつ）は寒（さむ）い
2. 道（みち）で［いち］円（えん）玉を見つけた
3. 裏山（うら）に秘密（ひみつ）［き］地（ち）を作る
4. ごみの分け方の［き］準（じゅん）を決める
5. 大雨の警（けい）［ほう］が出て休校になる
6. インターネットで情（じょう）［ほう］を集める
7. おぼんに家族で［ぼ］石（せき）を洗（あら）う
8. 祖母と［はか］参（まい）りに行く
9. 毎日練習の回数を増やす
10. デパートの食堂のメニューを見る
11. 始業式は講堂で行われる
12. 夏と秋の境目はいつなのだろう
13. 畑と畑の境界に目印の石を置く
14. お手伝いでおこづかいが増える
15. 今年は図書館の利用者が増加した
16. 電車（でん）の窓（まど）から青田が見える
17. おじいちゃんは春（はる）に田をたがやす

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん たんい1 B

なまえ

/ 16

1. 学校の食(しょく)□(どう)でカレーを食べる
2. 列車が国(こく)□(きょう)をこえる
3. 町の人口が少しずつ□(ぞう)加(か)する
4. 水(すい)□(でん)にカエルの声(こえ)がひびく
5. 全校生が講(こう)□(どう)に集まる
6. 学校と公園の□(きょう)界(かい)に木を植える
7. 夏はプールの客が急(きゅう)□(ぞう)する
8. おじいちゃんが□(た)畑(はた)で働(はたら)く
9. サッカーの基本を学ぶ □
10. 兄から修学旅行の報告を聞く □
11. 先祖の墓に花をそなえる □
12. おやつのクッキーを一つずつくばる □
13. データに基づいて練習の量を決める □
14. 指導してくれた師の恩に報いる □
15. お寺のとなりに墓地がある □
16. カレンダーをめくると六月一日だった □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん たんい2 A

なまえ

/ 17

1. 大ずもうで 力(りき) □(し) がぶつかり合う
2. お正月に先生 夫(ふ) □(さい) が家に来る
3. 読んだ本の 内(ない) □(よう) を友達に話す
4. □(ち) 図(ず) で駅(えき)までの道を調(しら)べる
5. 雨で □(じ) 面(めん) がぬれている
6. 火事の家に 消(しょう) 防(ぼう) □(し) が走る
7. 父は母思いの 愛(あい) □(さい) 家(か) だ
8. 母は 美(び) □(よう) 室(しつ) でかみを切る
9. こわい 夢 を見て夜中に起きた □
10. 仲のよい 夫 婦 がパン屋を開く □
11. 駅前のパン屋に 寄 る □
12. 汽 車 がけむりを出して走る □
13. つりに 夢 中 で時間を忘(わす)れる □
14. 船が給油のために 寄 港 する □
15. ボートを岸に 寄 せ る □
16. おばは 主 婦 で毎日家族の食事を作る □
17. 汽 船 が海をわたって外国へ行く □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん たんい2 B

なまえ

/ 16

1. つりに □(む) 中(ちゅう)で時間を忘(わす)れる
2. 仲のよい 夫(ふう) □(ふ) がパン屋を開く
3. 船が給油のために □(き) 港(こう)する
4. おじいさんは □(き) 車(しゃ)で通学した
5. かぜの夜に 悪(あく) □(む) にうなされる
6. 近所の 主(しゅ) □(ふ) が料理教室を開く
7. 集めたお金を病院に □(き) 付(ふ)する
8. 大きな □(き) 船(せん) が港(みなと)に入る
9. 大ずもうで 力士 がぶつかり合う □
10. おじさんは 妻 と二人でよく散歩をする □
11. 読んだ本の 内容 を友達に話す □
12. 地図 で国の場所(しょ)をさがす □
13. お正月に先生 夫妻 が家に来る □
14. モグラは 地下 にトンネルをほる □
15. えど時代の 武士 は刀をさしていた □
16. 手紙の 内容 をノートに書き写す □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん たんい3 A

なまえ

/ 16

1. 水泳のコーチに指（し）□（どう）を受ける
2. スプーンは金（きん）□（ぞく）でできている
3. 姉は小学校の教（きょう）□（し）になりたい
4. 部屋（へや）を出るときは□（でん）気（き）を消（け）す
5. 白バイの先（せん）□（どう）でランナーが走る
6. 兄はサッカー部に所（しょ）□（ぞく）している
7. かぜをひいて医（い）□（し）にみてもらう
8. はじめて一人で□（でん）車（しゃ）に乗（の）る
9. ねこはいつも台所に居る
10. ミシンで布をぬってふくろを作る
11. あいさつをするのは常識だ
12. 学級会で放送の委員にえらばれる
13. 昔の住居のあとを見学する
14. 落とした財布が見つかった
15. 自転車は常に左側を走る
16. 月曜日の委員会に出る

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん たんい3 B

なまえ

/ 16

1. 夕食の後は □間(いま) でテレビを見る
2. 落とした 財(さい) □ が見つかった
3. あいさつをするのは □識(しき) だ
4. 学級会で体育の □員(いん) をきめる
5. 毎月一回 □員会(いんかい) を開く
6. 昔の 住(じゅう) □ のあとを見学する
7. 寒い夜は 毛(もう) □ をかけてねる
8. 家族との 日(にち) □ を作文に書く
9. 案内係が客を出口へ 導く
10. スプーンは 金属 でできている
11. 姉は小学校の 教師 になりたい
12. 暗(くら)くなったので 電気 をつける
13. 水泳のコーチに 指導 を受ける
14. 鉄やアルミなどの 金属 は電気を通す
15. 父は中学校で理科の 教師 をしている
16. 線路(ろ)の上を 電車 が走っていく

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん ふりかえり3Ａ

なまえ

/ 24

1. サッカーの［き］本（ほん）を学ぶ
2. 兄から修学旅行の［ほう］告（こく）を聞く
3. 夜の［はか］場（ば）の前を通るのはこわい
4. 大ずもうで力（りき）［し］がぶつかり合う
5. お正月に先生夫（ふ）［さい］が家に来る
6. 読んだ本の内（ない）［よう］を友達に話す
7. 水泳のコーチに指（し）［どう］を受ける
8. スプーンは金（きん）［ぞく］でできている
9. 姉は小学校の教（きょう）［し］になりたい
10. 小学校に入って［いち］年（ねん）がたつ
11. ［ち］図（ず）で駅（えき）までの道を調（しら）べる
12. 部屋（へや）を出るときは［でん］気（き）を消（け）す
13. 学校の食堂でカレーを食べる
14. となりの家との境にへいがある
15. 町の人口が少しずつ増加する
16. こわい夢を見て夜中に起きた
17. 仲のよい夫婦がパン屋を開く
18. 駅前のパン屋に寄る
19. ねこはいつも台所に居る
20. ミシンで布をぬってふくろを作る
21. あいさつをするのは常識だ
22. 田んぼでカエルが鳴（な）いている
23. 汽車がけむりを出して走る
24. 学級会で放送の委員にえらばれる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん ふりかえり3 B

なまえ

/ 24

1. 学校の食(しょく)□(どう)でカレーを食べる
2. 列車が国(こっ)□(きょう)をこえる
3. 町の人口が少しずつ□(ぞう)加(か)する
4. つりに□(む)中(ちゅう)で時間を忘(わす)れる
5. 仲のよい夫(ふう)□(ふ)がパン屋を開く
6. 船が給油のために□(き)港(こう)する
7. 夕食の後は□(い)間(ま)でテレビを見る
8. 落とした財(さい)□(ふ)が見つかった
9. あいさつをするのは□(じょう)識(しき)だ
10. 水(すい)□(でん)にカエルの声(こえ)がひびく
11. おじいさんは□(き)車(しゃ)で通学した
12. 学級会で体育の□(い)員(いん)をきめる
13. サッカーの基本を学ぶ
14. 兄から修学旅行の報告を聞く
15. 先祖の墓に花をそなえる
16. 大ずもうで力士がぶつかり合う
17. おじさんは妻と二人でよく散歩をする
18. 読んだ本の内容を友達に話す
19. 案内係が客を出口へ導く
20. スプーンは金属でできている
21. 姉は小学校の教師になりたい
22. おやつのクッキーを一つずつくばる
23. 地図で国の場所(しょ)をさがす
24. 暗(くら)くなったので電気をつける

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん たんい4 A

なまえ

/ 17

1. 会社の□(かん)部(ぶ)が会議を開く
2. 遠足の日に母が□(べん)当(とう)を作る
3. 駅まで□(おう)復(ふく)で三十分かかる
4. つづきは□(じ)回(かい)のお楽しみ
5. 夏休みに新(しん)□(かん)線(せん)に乗る
6. サクラの花(か)□(べん)は五枚(まい)ある
7. この道は人や車の□(おう)来(らい)が多い
8. 目(もく)□(じ)を見て読みたい話をえらぶ
9. バスに乗る 順序 を守る □
10. キャンプ場にテントを 張る □
11. 正直に話して母の信用を 得る □
12. 店の仕事をわかい 者 にまかせる □
13. 自分の考えをはっきり 主張 する □
14. 姉は料理が 得意 だ □
15. 地震はどこでも起こり 得る □
16. 実験の 順序 をノートに書く □
17. 去年の 王者 を決勝でやぶった □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん たんい4 B

なまえ

/ 16

1. バスに乗る 順(じゅん) □(じょ) を守る
2. 自分の考えをはっきり 主(しゅ) □(ちょう) する
3. 姉は料理が □(とく) 意(い) だ
4. おなかがいたくて 医(い) □(しゃ) に行く
5. 本の □(じょ) 文(ぶん) を先に読む
6. 父は 出(しゅっ) □(ちょう) で北海道へ行く
7. 相手の言い分に 納(なっ) □(とく) がいかない
8. 星を調べている 学(がく) □(しゃ) の話を聞く
9. 大きな木の 幹 にセミがとまっている
10. 遠足の日に母が 弁当 を作る
11. 駅まで 往復 で三十分かかる
12. 次 の駅で電車をおりる
13. 会社の 幹部 が会議を開く
14. 運動会の日の 弁当 はおにぎりだ
15. バスで家と駅を 往復 する
16. となりの家の 次男 はぼくと同じ年だ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん たんい5 A

なまえ

/ 16

1. 図書館まで歩いて 往(おう) □(ふく) する
2. 何度電話しても □(おう) 答(とう) が無い
3. 鉄が磁石につく □(せい) 質(しつ) を調べる
4. おばあちゃんに 郵(ゆう) □(びん) で本を送る
5. 雪で電車が止まって 不(ふ) □(べん) だ
6. 家で今日の算数を □(ふく) 習(しゅう) する
7. 習った計算の方法を □(おう) 用(よう) する
8. 友達の 個(こ) □(せい) をみとめ合う
9. 人の役に立つ医者の道を 志す □
10. 朝の散歩は 快い □
11. 負けた相手にも 情け をかける □
12. 長崎県には島がたくさんある □
13. 兄が第一 志望 の高校に合格した □
14. 遠足の日は 快晴 にめぐまれた □
15. 遠足の行き先の 情報 を集める □
16. 長崎 の港に大きな船が入る □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん たんい5 B

なまえ

/ 16

1. 兄が第一□し望の高校に合格した
2. 遠足の日は□かい晴にめぐまれた
3. 遠足の行き先の□じょう報を集める
4. 長ながさき□県には島がたくさんある
5. 南の宮みや□ざき県はマンゴーが有名だ
6. 毎日練習を続ける意い□しが強い
7. 急いでいたので□かい速そくに乗った
8. 写真の弟は表ひょう□じょうがかたい
9. 図書館まで歩いて往復する
10. 何度電話しても応答が無い
11. 鉄が磁じ石につく性質を調べる
12. 転校した友達から便りが届くとど
13. チームのみんなの期待に応える
14. ダブルスは相性が大事だ
15. 旅行中の兄から便りが届くとど
16. 父は毎日電車で会社と家を往復する

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん たんい6 A

なまえ

/ 13

1. 先生の話を聞く［たい］度（ど）がよい
2. 大工さんの［ぎ］術（じゅつ）に感心する
3. 三時間目の［じゅ］業（ぎょう）は理科だ
4. 大雨で思わぬ事（じ）［たい］になる
5. 姉の特（とく）［ぎ］はけん玉だ
6. 大学の教（きょう）［じゅ］が研究の話をする
7. 毎朝歯をみがく習慣がある
8. 家の新年会に親せきを招く
9. 弟がおかずの量に不満を言う
10. 引っこした町の生活に慣れる
11. 水泳の前に体を水に慣らす
12. 誕（たん）生日会に友達を招待する
13. 夕方になると海の水が満ちる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん たんい6 A-2

なまえ

/ 14

1. 練習してピアノが 上(じょう) □(たつ) した
2. 朝の体の 状(じょう) □(たい) を記録する
3. 川のよごれの 実(じつ) □(たい) を調べる
4. 市の大会で水泳の 競(きょう) □(ぎ) に出る
5. ダムで働く □(ぎ) 師(し) の話を聞く
6. 祖母が料理のこつを 伝(でん) □(じゅ) する
7. □(じゅ) 業(ぎょう) 中(ちゅう) は静かにする
8. 急ぎの手紙を 速(そく) □(たつ) で出す
9. ねる前に本を読むのが 習慣 になった □
10. 「ねこの手も借りたい」は 慣用句 だ □
11. 試合の前にコーチが選手を 招集 する □
12. 向こうの岸で父が 手招き している □
13. 決まったルールに 不満 を言う人もいる □
14. 野球場は人で 満員 だった □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん たんい6 B

なまえ

/ 15

1. 毎朝歯をみがく 習(しゅう)□(かん)がある
2. 誕(たん)生日会に友達を □(しょう)待(たい)する
3. 弟がおかずの量に 不(ふ)□(まん)を言う
4. 国語で □(かん)用(よう)句(く)を習う
5. キャプテンが部員を □(しょう)集(しゅう)する
6. 朝の電車はいつも □(まん)員(いん)だ
7. 先生の話を聞く 態度 がよい □
8. 大工さんの 技術 に感心する □
9. 三時間目の 授業 は理科だ □
10. 練習してピアノが 上達 した □
11. 寄木細工に 職人技 が光る □
12. コーチが決勝を前に秘策を 授 ける □
13. 待望の第一子を 授 かる □
14. 小さい子にもやさしい 態度 で話しかける □
15. 習字を始めてから字が 上達 した □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん ふりかえり6 A

なまえ

/ 24

1. サッカーの［き］本（ほん）を学ぶ
2. 夜の［はか］場（ば）の前を通るのはこわい
3. 大ずもうで力（りき）［し］がぶつかり合う
4. 読んだ本の内（ない）［よう］を友達に話す
5. 水泳のコーチに指（し）［どう］を受ける
6. 姉は小学校の教（きょう）［し］になりたい
7. 会社の［かん］部（ぶ）が会議を開く
8. 駅まで［おう］［ふく］で三十分かかる
9. 図書館まで歩いて［おう］［ふく］する
10. 鉄が磁石（じ）につく［せい］質（しつ）を調べる
11. 先生の話を聞く［たい］度（ど）がよい
12. 三時間目の［じゅ］業（ぎょう）は理科だ
13. 兄から修学旅行の報告を聞く
14. おじさんは妻と二人でよく散歩をする
15. スプーンは金属でできている
16. 遠足の日に母が弁当を作る
17. 何度電話しても応答が無い
18. 大工さんの技術に感心する
19. おやつのクッキーを一つずつくばる
20. 地図で国の場所（しょ）をさがす
21. 暗（くら）くなったので電気をつける
22. 次の駅で電車をおりる
23. 転校した友達から便りが届（とど）く
24. 練習してピアノが上達した

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん ふりかえり6 B

なまえ

/ 24

1. 列車が国(こっ)□(きょう)をこえる
2. 仲のよい夫(ふう)□(ふ)がパン屋を開く
3. 落とした財(さい)□(ふ)が見つかった
4. 自分の考えをはっきり主(しゅ)□(ちょう)する
5. 遠足の日は□(かい)晴(せい)にめぐまれた
6. 誕(たん)生日会に友達を□(しょう)待(たい)する
7. 水(すい)□(でん)にカエルの声(こえ)がひびく
8. おじいさんは□(き)車(しゃ)で通学した
9. 学級会で体育の□(い)員(いん)をきめる
10. 長(なが)□(さき)県には島がたくさんある
11. 卒業をむかえた今の心(しん)□(きょう)を話す
12. 学校の食堂でカレーを食べる
13. 町の人口が少しずつ増加する
14. こわい夢を見て夜中に起きた
15. 駅前のパン屋に寄る
16. ねこはいつも台所に居る
17. あいさつをするのは常識だ
18. バスに乗る順序を守る
19. 正直に話して母の信用を得る
20. 人の役に立つ医者の道を志す
21. 負けた相手にも情けをかける
22. 毎朝歯をみがく習慣がある
23. 弟がおかずの量に不満を言う
24. 町の公会堂でピアノのコンサートがある

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん ふりかえり6 B-2

なまえ

/ 24

1. おなかがいたくて 医(い) [ ](しゃ) に行く
2. 学校と公園の [ ](きょう) 界(かい) に木を植える
3. この川が 県(けん) [ ](ざかい) になっている
4. 毎月一回 [ ](い) 員会(いんかい) を開く
5. 学級 [ ](い) 員長(いんちょう) にえらばれる
6. 近所の 主(しゅ) [ ](ふ) が料理教室を開く
7. 駅で年配の [ ](ふ) 人(じん) に道を教える
8. 寒い夜は 毛(もう) [ ](ふ) をかけてねる
9. 先生がプリントを 配(はい) [ ](ふ) する
10. 父は 出(しゅっ) [ ](ちょう) で北海道へ行く
11. デパートの 食堂 のメニューを見る
12. 始業式は 講堂 で行われる
13. お手伝いでおこづかいが 増える
14. 寒くなってかぜをひく人が 急増 している
15. 弟はプラモデル作りに 夢中 だ
16. おばけに追われる 悪夢 から目が覚める
17. 帰り道に図書館に 寄る
18. 外国の大きな船が長崎に 寄港 する
19. おやつは 居間 で食べる
20. ビーバーは川に木で 住居 を作る
21. それくらいは 常識 だと兄に言われた
22. 旅行から帰って 日常 にもどる
23. 実験の 順序 をノートに書く
24. 演奏会(そう)は明るい 序曲 で始まった

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん かん字のしくみ 1

なまえ

/ 18

6	5	4	3	2	1
増	墓	境	報	堂	基
部首	部首	部首	部首	部首	部首

12	11	10	9	8	7
寄	容	婦	妻	夢	士
部首	部首	部首	部首	部首	部首

18	17	16	15	14	13
常	師	布	属	居	導
部首	部首	部首	部首	部首	部首

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん かん字のしくみ 2

なまえ

/ 17

6 得 部首

5 往 部首

4 張 部首

3 弁 部首

2 序 部首

1 幹 部首

12 情 部首

11 性 部首

10 快 部首

9 応 部首

8 志 部首

7 復 部首

17 授 部首

16 招 部首

15 技 部首

14 慣 部首

13 態 部首

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん じゅくごのくみたて

なまえ

/ 20

二字の意味のつながりを考え、合う説明の記号を書きましょう。

- ア 意味の近い二字 — 温暖
- イ 反対の意味や対になる二字 — 左右
- ウ 前の字が、後ろの字の様子や種類を示す — 急行
- エ 後ろの字が、前の字の動作の対象を示す — 読書
- オ 前の字が、後ろの字の意味を否定する — 未定

1. 基準 □
2. 講堂 □
3. 報告 □
4. 境界 □
5. 墓前 □
6. 増員 □
7. 力士 □
8. 正夢 □
9. 夫妻 □
10. 夫婦 □
11. 収容 □
12. 寄港 □
13. 指導 □
14. 皇居 □
15. 付属 □
16. 配布 □
17. 漁師 □
18. 平常 □
19. 幹部 □
20. 序曲 □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん はんたいとにたいみ

なまえ

/ 22

対義語は反対や対になる意味、類義語は似た意味の言葉です。読みの候補を使って、□へ漢字一字を書きましょう。同じ読みは一度ずつ使います。

対…対義語
類…類義語

1 対 帰路 — □路

2 対 独立 — 従□

3 対 緩和 — 緊□

4 対 終幕 — □幕

5 対 感情 — 理□

6 対 形式 — 内□

おう・じょ・せい・ぞく・ちょう・よう

7 対 臨時 — 経□

8 対 断交 — □交

9 対 陰気 — □活

10 対 愚策 — □策

11 対 減税 — □税

12 類 夫婦 — 夫□

13 類 教員 — 教□

14 類 返答 — □答

おう・かい・さい・し・じょう・ぞう・とく・ふっ

15 類 伝道 — □教

16 類 根本 — 根□

17 類 心情 — 心□

18 類 没頭 — □中

19 類 仲間 — 同□

20 類 在住 — □住

21 類 釈明 — □明

22 類 土台 — □盤

かん・き・きょ・きょう・し・ふ・べん・む

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん よじじゅくご 2じ

なまえ

/ 12

ぶんとカタカナをてがかりに、しかくへかんじをふたもじかきましょう。

1 因果（オウ ホウ）のものがたりをよむ。

2 一挙（リョウ トク）のくふうをかんがえる。

3 臨機（オウ ヘン）にたいおうする。

4 千辛（バン ク）のすえのせいこうだ。

5 無双（テン カ）のえんぎにみとれる。

6 八九（ジッ チュウ）あすははれる。

7 楼閣（クウ チュウ）のようなけいかくだ。

8 このくふうは一石（ニ チョウ）だ。

9 三脚（ニ ニン）でかけぬける。

10 未聞（ゼン ダイ）のできごとだ。

11 一子（ソウ デン）のわざをまもる。

12 単刀（チョク ニュウ）にたずねる。

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん よじじゅくご

なまえ

/ 19

読みを確かめて、□へ漢字一字を書きましょう。

1. 因果応□（ホウ）
2. 一言居□（ジ）
3. 酔生□死（ム）
4. 夫唱□随（フ）
5. □姿端麗（ヨウ）
6. 諸行無□（ジョウ）
7. 古□今来（オウ）
8. 利害□失（トク）
9. 一陽来□（フク）
10. 意□堅固（シ）
11. 論旨明□（カイ）
12. 物□騒然（ジョウ）
13. 千姿万□（タイ）
14. 我□引水（デン）
15. 天□神明（チ）
16. □光石火（デン）
17. 三□三様（シャ）
18. □場一致（マン）
19. 上意下□（タツ）

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん ごじをなおす

なまえ

/ 24

次の文にまちがって使われている同じ読みの漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を書きなさい。

1. 裏山(うら)に秘密(ひみつ)喜地を作る
   誤 正
2. お寺の本働で手を合わせる
   誤 正
3. 明日は雨の予包だ
   誤 正
4. 卒業をむかえた今の心驚を話す
   誤 正
5. 祖父の暮前で手を合わせる
   誤 正
6. 大雨で川が蔵水している
   誤 正
7. 電車の運転市が合図する
   誤 正
8. かぜの夜に悪無にうなされる
   誤 正
9. 近所の老夫彩が畑を耕す
   誤 正
10. 駅で年配の阜人に道を教える
    誤 正
11. 「赤い」は形曜詞だ
    誤 正
12. 船が給油のために棋港する
    誤 正
13. 水泳のコーチに指道を受ける
    誤 正
14. 東京の皇巨のまわりを走る
    誤 正
15. 兄はサッカー部に所俗している
    誤 正
16. 落とした財府が見つかった
    誤 正
17. 港町の漁至が朝早く海に出る
    誤 正
18. このパンは畳温で保存(ぞん)する
    誤 正
19. 会社の館部が会議を開く
    誤 正
20. 物語の女章から引きこまれる
    誤 正
21. 遠足の日に母が勉当を作る
    誤 正
22. 自分の考えをはっきり主頂する
    誤 正
23. この道は人や車の央来が多い
    誤 正
24. 姉は料理が篤意だ
    誤 正

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

3きゅう 20かん おなじおんのかんじ

なまえ

/ 24

次のカタカナを漢字に直して、□に記せ。

1. サッカーの□キ本(ほん)を学ぶ
2. 日直の声で□キ立(りつ)する
3. 発表会で□ドウ話(わ)劇(げき)をする
4. 市の公(こう)会(かい)□ドウで合唱する
5. 北の地(ち)□ホウでは雪が多い
6. インターネットで情(じょう)□ホウを集める
7. 学校と公園の□キョウ界(かい)に木を植える
8. テレビで□キョウ泳(えい)の大会を見る
9. おぼんに家族で□ボ石(せき)を洗(あら)う
10. 運動会(うんどう)に父(ふ)□ボが見に来る
11. テレビで宇宙(うちゅう)の映(えい)□ゾウを見る
12. 町の人口が少しずつ□ゾウ加(か)する
13. 大ずもうで力(りき)□シがぶつかり合う
14. 画家の絵が□シ後(ご)に有名になる
15. そうじ当番の義(ぎ)□ムを果たす
16. つりに□ム中(ちゅう)で時間を忘(わす)れる
17. 近所の老(ろう)夫(ふ)□サイが畑を耕す
18. 空きびんを□サイ利(り)用(よう)する
19. 先生がプリントを配(はい)□フする
20. 近所の主(しゅ)□フが料理教室を開く
21. このホールは千人を収(しゅう)□ヨウできる
22. 兄と同(どう)□ヨウにぼくも野球をする
23. 初出場で優(ゆう)勝の快(かい)□キョウだ
24. 昔の住(じゅう)□キョのあとを見学する

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10